

図/年表

時代	多々良沼	城沼	年(和暦)	できごと
安土桃山		●	1532	館林城創建
		●	1562	長尾景長、館林城入城
	●		1578	植林、用水路事業を行った大谷休泊が没する
	●		1590	鶉城 廃城
		●	1590	石田三成による館林城包囲、開城(小田原の役)
	●			江戸時代以前より現木戸堰付近に洪水防止の堰を建設・管理
江戸		●	1627	現在のつつじが岡公園の土地に、第9代館林城主松平(榊原)忠次 ^{ただつぐ} がツツジを数百株移植、古来から自生していたヤマツツジの古木に加えた
		●	初期	城沼・古城沼の間に締切土手を造築
		●	1661-1680	後の第五代将軍徳川綱吉が館林城に在城
明治		●	1874(7)	大火により建物焼失
		●	1884(17)	つつじが岡公園が郡有公園となる
	●		1890(23)頃	赤土手整備
	●	●	1910(43)	8月~10月、東毛地域大洪水
大正		●	1924(13)	つつじが岡公園が県有公園となる
昭和		●	1934(9)	県立つつじが岡公園、国の名勝に指定
	●		1945(20)	食糧増産のため多々良沼周辺湿地の干拓始まる
	●	●	1947(22)	カスリーン台風
	●		1953(28)頃	多々良沼上流の工場廃水により富栄養化
		●	1955(30)頃	谷田川・渡良瀬川合流点の海老瀬間田排水機場・堰門完成
		●	1955(30)頃	城沼流出口の首洗堰改修(堰門完成)
	●		1955(30)	この頃まで多々良沼で泳いで遊んだ
	●		1968(43)	木戸堰の改修整備 (設定水位:任意、待矢場両堰土地改良区管理)
		●	1973(48)頃~	市営城沼総合運動場建設工事開始 (尾曳橋西側の河川改修と埋立て)
		●	1977-82 (52-57)	城沼浚渫工事(岸部・中央部の植生消失)
	●		1979(54)	中野沼周辺の低湿田の改良開始
	●		1988(63)	多々良沼土地改良(日向地区)開始
				多々良沼の冬季の水位を40cm程度高くした
	●		1988(63)	11月~ 多々良沼底泥浚渫開始
平成	●		1990(2)	5月 多々良沼底泥浚渫完了
		●	1991(3)	城沼北東部及び北側岸部の浚渫 古城沼を城沼増水時の遊水地として整備
	●		1994(6)	鶴生田川を通じ、多々良沼の水を城沼に導水開始
		●	1995-99(7-11)	城沼の護岸部の親水化
	●		1995(7)	多々良沼土地改良(日向地区)竣工
	●		1996(8)頃	この頃多々良沼外縁の水田を1.5m程度かさ上げ
		●	1999(11)	城沼流出口の首洗堰改修(洗堰化)
		●	2000(12)	礫間接触浄化施設稼働(鶴生田川)

出典:「館林双書第13巻 故郷の自然・城沼」(1983)館林市立図書館、
「館林市史特別編第3巻館林の自然と生きもの」(2008)館林市、

つつじが岡公園ホームページ<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp/tsutsuji/11.html>

「古城沼湿原自然保護計画報告書」(1987)群馬県館林土木事務所